

三鷹市教育長賞

支援の力で手に入れた新たな未来

連雀学園三鷹市立第一中学校

三年 浪崎 花梨

私は、軟骨低形成症を患っています。この病気は、骨の成長に関わる軟骨の異常により低身長であることを特徴とする先天性疾患です。

この病気に対する治療は長時間にわたって継続して行うことが求められているため、小学校一年生の時から毎晩ホルモン注射を自分で打っています。この治療は医療保険が適用されており、その一部は税金によって賄われています。私が打っている注射は、1本あたりおよそ10万円で、3ヶ月に20本近くを消費します。20本×10万円で200万円、すると1年でおおよそ800万円が必要になり、とても高額です。実際には7割が健康保険組合から支給され、3割が自己負担となります。しかし私の場合、3割の内の2割を国からの医療費助成、残り1割を東京都からの医療費助成を受給しています。つまり、税金のおかげで自己負担なく、治療を受けることができています。

軟骨低形成症は稀な疾患であり、治療のためのホルモン注射は非常に高額です。健康保険組合で給付されない残りの3割の自己負担だけでも治療を受けることをためらってしまいますが、税金による医療費助成があることでとても大きな救いになっています。

身長が伸びることで、将来の職業の選択肢が広がり、社会的な不安も軽減されます。これらを考え、治療することを家族と相談して決めました。現在では、当初予定されていた身長よりも10センチメートル以上伸び、女性の平均身長に届くと予想されています。すると身長によって及ぼされる影響が少なくなることが考えられます。もし、税金による負担がなかったら、多額の治療費の負担を強いられるか、低身長のままだった可能性があります。税金や様々な人の支援などによって、自分自身が成長できていると強く感じています。それらのおかげによって、治療を受けることができ、生活の質が向上し、将来への希望をもつことができるのです。

医療費助成だけでなく、公共施設や公共サービスを提供するために使われている税金によって私たちの生活は豊かにかつ安全に過ごすことができます。さらに、税金が社会全体に及ぼす影響は大きく、教育や福祉、インフラ整備など、私たちの日常生活のあらゆる場面で税金が役立っています。税金のおかげで、私たちは安全、安心して生活を送ることができ、社会全体の発展にも寄与しています。

このように、税金による支援があることで私のような個々の治療だけでなく、社会全体の福祉と発展にも利用されています。私たち一人ひとりが税金の重要性を理解し共有、発信していくことが大切です。